

★札幌座の感染症対策

札幌座は以下のような感染症対策を徹底することで出演者・スタッフ・各地の上演実行委員会の皆さん、各地の劇場スタッフの皆さん、そして観客の皆さんの感染リスクを最小限に抑える取り組みを行いつつ、細心の注意を払いながら慎重に劇場での演劇公演を実施しております。

関係者の皆様、観客の皆様には、手間のかかるお願いばかりではありますが、北海道の皆さんに生の劇場演劇をお届けするために、当面の間は必要な手間の数々だと考えましたので、ご理解の上ご協力くださいますようお願い申し上げます。

【ご来場を予定している観客の皆様へ】

★次のような不安のある方はご来場をお控え下さい。

- ・ 37度以上(または平熱より高い)の熱や、咳やの痛みなど風邪症状のある方。呼吸困難、倦怠感のある方。
- ・ だるさ・鼻水・味覚障害等の症状のある方。
- ・ 陽性とされた者との濃厚接触がある場合。

★ご来場の際は以下の点にご理解、ご協力ください。

- ・ 施設内でのマスクの着用をお願いします。
- ・ 入館時の手指消毒・靴底消毒・検温にご協力ください。
- ・ せきエチケット、手洗い、手指消毒にご協力ください。
- ・ 入場時、一定の間隔を開けた整列にご協力ください。
- ・ ロビー、客席での長時間の会話はお控えください。
- ・ キャッシュレスでの決済をご活用ください。
- ・ 病気や障害によりマスクの着用等が困難な場合は、あらかじめ劇場までご連絡いただき、国や自治体の対応方針に添ってのご入場にご協力ください。

参考「マスク等の着用が困難な状態にある発達障害のある方等への理解について」(厚生労働省)https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_14297.htm

- ・ 客席での皆さまの距離を確保するために、受付スタッフが座席を指定する場合があります。
- ・ 劇場内やロビーでの出演者へのご面会は、当面の間ご遠慮ください。
- ・ 開演前、終演後、劇場にお入りになる時や、お帰りになる時、通路やロビーの混雑を避けるため、係員が順番にご案内する場合がありますので、ご協力ください。
- ・ 受付スタッフは、マスク・フェイスシールド・手袋を着用し、受付カウンターにはビニールシートで隔壁を設けさせていただきます。現金のやり取りの際は消毒のひと手間を追加させていただきます場合もございます。ご理解・ご協力をお願いいたします。

★札幌座は、すべてのスタッフ・出演者の体調チェックを徹底し、公演ごとに客席、ロビー、トイレなどの消毒を施し上演中も換気に努め、安全な上演を心がけます。

★札幌座の感染症対策の取り組みは、道内の感染拡大の状況によって変更する場合があります。札幌座ホームページ<<http://www.sapporoza.com>>の下にある「新着情報」で最新の取り組みをご確認のうえご来場ください。

2022年10月14日

公益財団法人 北海道演劇財団 芸術監督 清水 友陽

★札幌座をお迎えくださる劇場の皆様へ

【★札幌座の稽古期間中と、劇場への搬入・仕込み作業時の感染症対策】

- ◆札幌座は、稽古期間中も衛生責任者の監視のもと「扇谷記念スタジオ・シアターZOO の感染症対策」に準じた対策を施し、すべての出演者・スタッフの稽古以外の時間帯における体調把握と行動抑制も行い、感染拡大防止策を徹底したリハーサル期間を経て劇場に伺います。
- ◆事前に劇場管理者と相談をさせて頂き、劇場施設内に**同時に滞在する人数の制限**を行います。全員の入館完了後に劇場管理者へ**利用者名簿・チェックリスト**を提出します。
- ◆札幌座の出演者・スタッフは、全員**マスクを着用**して劇場へ伺います。
- ◆**全てのスタッフの連絡先は札幌座が把握し**、劇場管理者の方が必要と認める際にはそれを提出します。
- ◆劇場施設への入口で、「**靴底消毒**」「**手指消毒**」「**検温**」「**うがい薬による口腔殺菌**」(資器材は札幌座が用意)を行い、札幌座の衛生責任者によるチェックリストへの記入をします。
- ◆仕込み作業を行うスタッフは、**劇場内専用のマスクかフェイスシールド**を着用します。スタッフが着用してきたマスクは、マスク専用ビニール袋に入れて記名し、各自で保管します。
- ◆物品の搬入作業終了後、再度の**靴底消毒**と殺菌石鹼による**手洗い**を行い、札幌座の責任者による名簿の**チェック欄への記入**をします。
- ◆仕込み作業中やリハーサル中は、利用者同士の密接を避けるための工夫を徹底し、衛生管理者による監視のもと、作業を進めます。
- ◆繰り返し劇場施設を出入りするスタッフに対しては、その都度、**靴底消毒・手洗い・うがい**の徹底を促し、チェックリストへの記入も行います。
- ◆飲物は蓋つきのペットボトルを個別に利用し、共用のコップの使用は禁止、**紙コップも1回限りの使用に限定**します。弁当など食品の控室・楽屋への持ち込みは**個別包装されたものに限定**します。

【リハーサル・公演期間中の感染症対策】

- ◆舞台に出演中の出演者以外は**マスクの着用**を徹底します。メイク後の出演者はフェイスシールドを着用する場合があります。
- ◆マスクを外す際は、**マスク保管用のビニール袋**に入れ、**各自記名し、置き場所を明確**にします。
- ◆劇場施設内の**常時換気**をお願いいたします。
- ◆頻繁な**手洗いと手指消毒、小道具・衣裳、大道具の消毒**も徹底します。(消毒資材の持参)
- ◆すべての客席、手すり、ドアノブ、エレベーターボタン、スイッチなど、観客の皆様が手を触れる可能性のある部分の消毒に劇場の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

【劇場施設からの退館時】

- ◆ゴミ処理の方法については、劇場が指定する方法に従いますのでご指示ください。
- ◆**退館時も入館時と同様に手洗い・うがい・検温・名簿へのチェック**の後、退館時間を記入し、劇場の方が必要と認めた場合には、それを提出いたします。

今後、状況の変化や最新情報に応じて、これら対策の内容やレベルを変更する可能性もあります。その都度札幌座と劇場の方とで相談をさせていただき対策の内容を確認させていただきます。

札幌座公演メンバーの中に感染が認められ次第、劇場側に報告させていただきます。その後の公演中止などの判断や対応など、更なる詳細については札幌座の公演責任者と劇場の方とで相談をさせて頂き、双方協力の上で安全で慎重な上演実現にご協力ください。

2022年10月14日

公益財団法人 北海道演劇財団 芸術監督 清水 友陽